

感染拡大特別警報発令中! 新型コロナウイルス感染症

感染症発生動向速報

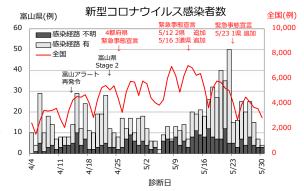
富山県感染症情報センター (0766-56-5431 直通) (0766-56-8142 細菌部) (0766-56-8143 ウイルス部)

(令和3年第21週分・5月24日~5月30日)

《 インフォメーション 》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、5月30日時点で744,487例となり、12,967例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は減少傾向ですが、医療提供体制のひつ迫は続いています。このため、5月31日期限で発令されていた緊急事態宣言は延長され、沖縄県も含めた10都道府県を対象とした緊急事態宣言の実施期間は6月20日までとなりました。また、まん延防止等重点措置は、隣県の石川、岐阜を含む8県で実施されています。



県内の今週の新規感染者数は113 例で、5月30日時点の累積感染者数は1,870 例になりました (図;棒グラフ)。感染者数及び入院者数の増加が継続していることから、医療提供体制のひっ追などを避けるため、県内には感染拡大特別警報が発令されています。会話時のマスク着用、県境を跨いだ移動の自粛、職場での感染防止対策に加え、イベントの開催を慎重に検討することなどが求められています。

県内における N501Y 変異検出の PCR 検査の累積陽性件数は 553 件となり (5月30日時点)、現在は新規陽性者のほぼ全てが N501Y 変異ウイルスです。また、そのうちゲノム解析を行った症例は全て、感染性が従来株より高いとされる英国由来変異株 (VOC1) でした。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった一人一人が取り組むべき感染対策は同じです。これ以上の感染拡大を防ぐため、高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691; 24 時間対応)にご連絡ください。

《 全数報告の感染症 》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 113件

二類感染症 結核 2件(①20歳代、男性 ②70歳代、女性)

五類感染症 ウイルス性肝炎 1件(40歳代、男性、B型)

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件(90歳代、女性)

侵襲性肺炎球菌感染症 2件(①10歳未満、男性 ②40歳代、女性)

梅毒 1件(第 20 週診断分:40 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患 定点あたりの数 順位 疾病名 今调 (増減) 先调 RSウイルス感染症 4.79 7. 10 (1) 1位 2位 感染性胃腸炎 4.24 (1) 3.48 3位 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 0.93(1)0.83 突発性発しん 0.45(1)4位. 0.34 5位 咽頭結膜熱 0.28 (1) 0.14 6位 伝染性紅斑 0.14 (1) 0.00

RS ウイルス感染症が 例年より増えています! 3 歳未満の幼児に多く、 症状は発熱、鼻汁。2~3 割は気管支炎、肺炎に進 展。生後6ヵ月以内、ま たは基礎疾患があると重 症化しやすく、注意が必 要です。 〇感染症発生動向調査報告状況(令和3年第21週 令和3年5月24日~令和3年5月30日)

		制金報告状况(令相3年第21週 ~ 	<u> 1 本 2 十 2</u>	ЛСЧП		<u>+ 5 月 5 0</u> 告分(第 2						R告数 (今)	和3年第1调	(1月4日)	~)	
一張時途性 勝関・他性大類の過失性	<u>分類</u>	疾患	新川	中部				その他※1	計	新川						計
正統認定位 日本語語を検索性 日本語語を検索性 日本語語を表現を発生 日本語語を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	新型インフルエンザ等 感染症	新型コロナウイルス感染症	27	2	38	7	39		113	90	118	340	59	651	32	1, 290
四周治療機能 日本語表 日本語	二類感染症	結核			2				2	7	3	17	7	15		49
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										2		1		3
正文字	四類感染症	E型肝炎								1				1		2
五張映像性 カイルス性肝炎 カイルス性肝炎 カルバルム性精肉物育物質を含む カルバルム性精肉が育用物質を含む カルバルム性精肉が育用物質を含む カルバルム性精肉が育用物質を含む カルバルム性精肉が育用物質を含む カリ カリ カリ カリ カリ カリ カリ カ		つつが虫病								1						1
カルバネス制性機関の関係制度に対す。		レジオネラ症									1	2		1		4
 急性服务 急性服务 自体服务 日本股份 日本股份	五類感染症	ウイルス性肝炎	1						1	2						2
解症型溶血性レンサ球菌部致症		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	1		3
接来性免疫不全症候群		急性脳炎										1				1
日報性インフルエンザ国際機能		劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1		1		2
機能性請決端齒感染症		後天性免疫不全症候群								1				1		2
 水痘 (入院例) 情報等 水痘 (入院例) 情報等 水痘 (入院例) 情報等 水痘 (魚院) 水痘 (魚院) 水痘 (魚院) 水痘 (魚院) 木皮 (木) (木) (木) (木) (木) (木) (木) (木) (木) (木)		侵襲性インフルエンザ菌感染症					1		1			1	1	1		3
精毒性性クリブトコックス症 接触型		侵襲性肺炎球菌感染症					2		2	1		1		10		12
標準性クリプトコックス症 1 1 1 1 1 1 1 1 1		水痘(入院例)												1		1
破傷風		梅毒									1	2		12		15
大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き		播種性クリプトコックス症												1		1
## Part		破傷風										1				1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す) 本籍 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	(下段は定点当たり	インフルエンザ										5				5
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す) (下段は定点当に定点は定点は定点は定点は定点は定点は定点は定点は定点は定点に定点は定点に定点は定点に定点に定点に定点に定点に定点に定点に定点に定点に定点に定点に定点に定点に定		RSウイルス感染症								81	86	377	19	612		1, 175
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す) 本の表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表			0.75	1.00		1. 20	_			18	27	91	1	64		201
定点疾病 (下段は定点当たの患者数を示す) 原染性胃腸炎 28 7 17 5 666 123 396 193 271 80 592 1.532					0. 25		0. 50									
原染性胃腸炎 28 7 17 5 66 123 396 193 271 80 592 1,532 7,00 2.33 2.13 1.25 6.60 4.24		A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1							50	29	404	72	161		716
(下段は定点当たり の患者数を示す) 水虚 1				7						396	193	271	80	592		1 532
水痘 1 0.10 0.03 2 9 1 4 16 年足口病 1 1 1 2 2 9 1 4 16 伝染性紅斑 0.10 0.07 0.07 1 12 19 突発性免しん 3 5 1 4 13 28 16 76 33 63 216 ヘルパンギーナ 0.63 0.25 0.40 0.45 16 16 16 流行性耳下腺炎 1 1 1 3 2 2 5 3 3 15 流行性角結膜炎 0.13 0.25 0.10 0.10 0.10 1 1 1 細菌性髄膜炎 1 1 7 1 9 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 1 7 1 9		感染性胃腸炎 		2. 33								_, _,		002		
手足口病 1 1 2 2 9 1 4 16 伝染性紅斑 4 4 4 1 5 1 12 19 安発性発しん 3 5 1 4 13 28 16 76 33 63 216 ヘルパンギーナ 1 1 1 3 2 2 5 3 3 15 流行性耳下腺炎 1 1 1 3 2 2 5 3 3 15 流行性角結膜炎 0.13 0.25 0.10 0.10 1 1 1 1 細菌性髄膜炎 0.13 0.25 0.10 0.10 1 1 1 1 マイコブラズマ肺炎 1 1 7 1 9 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 1 1 7 1 9							1		1	1	6	14	4	22		47
一年 日 時 0.13 0.10 0.07 1<					1		0. 10		0.03	2		Q	1	1		16
安発性発しん 3 5 1 4 13 28 16 76 33 63 216 へルパンギーナ 16 16 16 16 15 15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		手足口病			0. 13		0. 10		0. 07			J	•			10
安発性発しん 3 0.75 0.63 0.25 0.40 0.13 28 16 76 33 63 216 ヘルパンギーナ 1 1 1 1 1 3 3 2 2 5 3 3 3 15 16		伝染性紅斑							4		1	5	1	12		19
契発性発しん 0.75 0.63 0.25 0.40 0.45 ヘルパンギーナ 16 流行性耳下腺炎 1 1 1 1 3 2 2 5 3 3 3 15 流行性角結膜炎 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			2		5	1	0.40			20	16	76	22	62		216
ヘルパンギーナ 16 流行性耳下腺炎 1 1 1 1 3 3 2 2 5 3 3 15 流行性角結膜炎 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		突発性発しん				0. 25	0. 40			20	10	70	30	00		210
 流行性耳下除炎 の. 13 0. 25 0. 10 0. 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ヘルパンギーナ								16						16
流行性角結膜炎 細菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		流行性耳下腺炎			0 13	0 25	0 10			2	2	5	3	3		15
無菌性髄膜炎 1 1 マイコプラズマ肺炎 1 7 1 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 1 1		流行性角結膜炎			0. 10	0. 20	0. 10		0.10		1					1
無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		細菌性髄膜炎												1		1
マイコフラスマ mi 交 感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		無菌性髄膜炎												1		1
		マイコプラズマ肺炎									1	7	1			9
インフルエンザによる入院患者(※2) 1 8 9		感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1						1
		インフルエンザによる入院患者(※2)										1	8			9